

令和 3年 6月 10日

8時 52分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 11 番

氏名 飛 野 弘 二

答弁を求める者

(○をつける)

 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 元気な中山間地域振興の仕組みづくり「パートⅢ」について

少子高齢化、過疎化に歯止めがかからない中、本来ならコミュニティが得意で取柄な地域だけに今回のコロナ禍で3密を避けるため、祭りをはじめ集落行事・イベントなどの自粛で一番大事な意志の疎通手段を分断された。今こそ、元気な中山間地域振興の仕組みづくりに挑戦する待ったなしの状況と受け止めている。仕組みをつくることにより、引き続きこの素晴らしい中山間地域に今後も安心して住み続けることができるようにしなければならない。仕組みづくりの主役は、その地域に暮らし、今日まで豊かな自然を守り、伝統文化を継承し、そして、次の世代にこれを引き継いでいこうとする住民の皆さん一人一人である。そして行政はこの活動に参画し、仕組みづくりを積極的に進めていく必要がある。

(1) 「新型コロナ」撃退「鍾馗の疫神ポロシャツ」の作製と着用で意識醸成と取組のアピール活動について

「コロナ」よ鎮まれ！世界の人々が叫び願っているがまだまだ時間がかかると思われる。ワクチン接種が始まっているが出口はなかなか見えてこない。そこでの着慣れた、開府400年ポロシャツが懐かしくなってきた。コロナ対策事業の一環として、官民一体となって早期終息を願う浜田市を県内外に示す活動を提案するが所見を伺う。

(2) UI ターン移住者対策について

中山間地域の一次産業の担い手不足対策は、もはや待った無しの状況で、目先を乗り切るためにも、この移住対策しか見当たらない。島根県への移住者は3642人と4年ぶりに増加した、と報道があった。コロナ禍の現象で首都圏からの移住者が多い。20・30歳代の若者の田園回帰も少なくない。

- ① 浜田市のUI ターン移住者の近年の推移を伺う。
- ② 自治体間競争にますます拍車がかかると思うが浜田市としての戦略を伺う。
- ③ 浜田市のホームページ「はまだ暮らし」の更新に当たり公募への応募状況と進捗状況を伺う。

(3) 高速情報通信基盤整備について

- ① 事業の進捗状況を伺う。
- ② 三隅地域において令和3年2月からチャンネル統合され、それに伴う各戸のチャンネル設定が必要となったがスムーズにできたのか伺う。
- ③ 三隅地域において天気情報が以前と比べ不人気と聞くが感知しているのか伺う。
- ④ 三隅地域において光化に伴いIP電話の代替の検討状況を伺う。

(4) NHK 第1放送 (FM 波 81.7MHz) ラジオ中継局開局について

- ① この4月から大麻山に開局し浜田市を補完するとまちづくりセンターにポスターが掲示されていた。災害情報の媒体として心強いが、浜田市と災害時の協調や連携ができるのか伺う。
- ② 浜田市を補完するとあるが、FM波だけに山間地では感度が悪い地域が多々ある。放送出力を増やすなど難聴対策の協議があったのか伺う。